

北陸地区最大級の大型物流拠点が来夏完成 ～センコー金沢第2PDセンター起工式を開催～

センコーグループホールディングス株式会社(本社:東京都江東区、社長:福田 泰久、以下「センコーGHD」)は、北陸地区の物流業界で最大級の延床面積を有する「センコー金沢第2PDセンター」(石川県白山市、以下「新センター」)の起工式を、6月11日に行いました。

新センターは2023年6月の竣工を予定しており、センコーGHDが建設し、傘下の事業会社であるセンコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本 健司、以下「センコー」)が施設を賃借し運営します。



センコー金沢第2PDセンター完成予想図

新センターは、北陸自動車道「美川IC」「白山IC」より約6km、「徳光スマートIC」より約5km、金沢市内まで約30分と好アクセスで、白山市は北陸3県(福井、富山、石川)のほぼ中央にあることから、北陸エリア全域への商品供給拠点として、高い利便性が期待できます。

北陸地区は小規模な倉庫が多く、延床面積が15,000㎡(約5,000坪)を超える大型施設は数少ない状況ですが、Eコマースの拡大や大手ドラッグストアをはじめとした全国チェーンの量販店の進出など、小規模倉庫では対応できない規模の物流需要が想定されます。

センコーは、長年、全国各地で取り組み拡大させてきた量販小売店向け物流のさらなる強化を推進するなかで、北陸地区でも新たな需要が増していることから、この機会をビジネスチャンスと捉え、地区最大級の拠点開設で、事業拡大を図ります。

さらに、新センター屋上全面に敷設する太陽光パネルで電力を賄い、余剰電力を外部に供給するなど、環境に配慮した設備も積極的に導入します。

<センコー金沢第2PDセンターの概要>

- | | | |
|---------|---|--|
| 1. 所在地 | : | 石川県白山市村井2640 |
| 2. 建物構造 | : | 鉄骨造 地上4階建て |
| 3. 敷地面積 | : | 18,032㎡ |
| 4. 延床面積 | : | 34,654㎡ |
| 5. 設備 | : | 貨物用エレベーター、ケースソーター、垂直搬送機、クライミングレバラー、移動ラック、太陽光パネル、EV充電設備(乗用車用) |